

環境学習情報ガイド

- 1 環境学習ホットライン
- 2 国の事業を活用しよう
- 3 県の事業を活用しよう

わかやま環境クイズ
第3問

和歌山には「へえ〜っ」なことがいっぱいあるんよー！
次の中で「和歌山のへえ〜」はいったい
どれやと思う〜？

- ①和歌山から富士山が見える！
- ②30年たっても食べれるお寿司がある！
- ③海の中にポストがある！！



では第3問
しっちゃんる？！
和歌山には「へえ〜っ」なことがいっぱいあるんよー！
次の中で「和歌山のへえ〜」はどれやと思う？

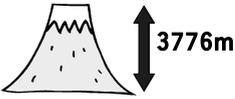
正解
ぜ〜んぶ正解！



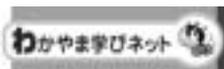
ぜ〜んぶ正解！ ちなみに①は…

富士山
見えるんやで〜！！
和歌山は富士山を西から見れる
一番遠いところなんやで。
その距離なんと
322.9 k m !

(撮影：楠本弘児さん)



富士山見えるってほんまかよー？って思っちゃんるやろ？
那智勝浦町の山から富士山が見えるんやけど、その距離は、なんと
322.9 k m !
富士山を西から見る一番遠いとこなんよー。



和歌山県文化情報センター
<http://wgs.wakayama-lib.go.jp/>

和歌山県立図書館文化情報課 TEL：073-436-9530

1. 環境学習ホットライン

全国環境教育情報



環境省

『こどものページ』 <http://www.env.go.jp/kids/>

環境省の事業や体験学習活動、環境調査などを紹介。

「こども環境白書」 <http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/kodomo.html>

「しってるかな？外来生物」 <http://www.env.go.jp/nature/intro/kids/index.html>

「環境税って知ってる？」 http://www.env.go.jp/policy/tax/know/kids_leaf.html

「身近な生き物調査」(環境省生物多様性センター) <http://www.biodic.go.jp/mijika/>

「子どもパークレンジャー」 <http://www.env.go.jp/kids/ranger.html>

「化学物質に関するリスクコミュニケーション」 <http://www.env.go.jp/chemi/communication/kids.html>

『こどもホタルレンジャー』こっちの水はきれいだぞ！

<http://www.env.go.jp/water/info/hotaranger.html>

<http://www.mizumidori.jp/hotaru/>

ホタルを通じた水環境保全活動の事例を報告するページ。

平成16年度スタート。優秀事例には環境大臣賞等が贈られます。



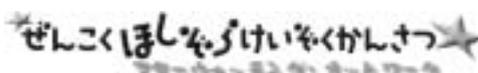
『全国水生生物調査』 <http://www.env.go.jp/kids/water.html>

<http://w-mizu.nies.go.jp/suisei/suisei.html>

川の中の様々な生き物を楽しく調査するページ。小学校の学年・組で参加してみませんか。身近な川の水質を知るとともに、水辺に親しむことできれいな川の重要性を考えます。下敷きやパンフレットのほか、バット、ピンセット、ルーペなどがもらえます。

『スターウォッチング』 <http://www.env.go.jp/kids/star.html>

肉眼や双眼鏡、カメラを使った身近な方法で星の見え方を調べてもらう全国星空継続観察を毎年、夏と冬の2回行っています。



～水生生物調査とスターウォッチングの詳細は県庁環境生活部環境管理課まで～

環境省環境教育推進室『環境教育・環境学習、環境保全活動のページ』

環境教育・環境学習に役立つページ集

<http://www.env.go.jp/policy/edu/index.html>

http://www.env.go.jp/policy/edu/materials_edu.html

環境教育・環境学習データベース『EE & EL』 <http://www.eeel.jp/index.html/>

環境省と文部科学省の連携サイト。調べ学習、情報検索に最適！教材プログラムも多数掲載。学校内外の環境教育や地域での環境学習を支援する目的で、関連情報を総合的に提供しています。先生のページ、子どものページ、ファミリーのページがあります。

各分野の環境問題解説

先生のための指導プログラム

環境教育分野の図書資料

地域の学習支援情報

子ども向けの調べ学習サイト

家庭向けのエコライフ情報サイト

『**自然大好きクラブ**』 <http://www.nats.jeef.or.jp/>

「**すぐに使える自然体験プログラム**」の紹介ページがあります。

国立公園内にあるビジターセンターや「自然観察の森」など全国の自然ふれあい施設やそで行われる体験学習の情報を紹介。四季のいきもの前線調査もあります。

「**自然観察の森へ行こう - 学校の先生方へのご案内 -**」

<http://www.nats.jeef.or.jp/kansatsu/teacher.html>(「和歌山自然観察の森」も紹介されています。)

『**インターネット自然研究所**』 <http://www.sizenken.biodic.go.jp/>

日本各地の国立公園の風景や野生動物のライブ映像を観ることができます。

絶滅のおそれのある野生動物を詳しく紹介したページなどもあります。

環境省大気汚染物質広域監視システム『そらまめ君』 <http://w-soramame.nies.go.jp/>

全国の大気汚染状況について24時間、情報提供しているサイト。測定結果と光化学オキシダント注意報・警報発令情報の最新1週間のデータを地図でみることができます。

J E A 『(財)日本環境協会』 <http://www.jeas.or.jp/>

「**こども環境相談室**」 http://www.jeas.or.jp/activ/edu_01_00.html

環境に関するいろいろな質問に環境カウンセラーが答えてくれます。

電話：03-5114-1258 (月～金10:00～17:00) E-mail: ecobox@e.email.ne.jp

FAX: 03-5114-1250 (名前と学年、連絡先を忘れずに)

手紙：〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9プライム神谷町ビル2F

財団法人日本環境協会こども環境相談室 (返信用の切手を入れてください。)

JCCCA 『**全国地球温暖化防止活動推進センター**』 <http://www.jccca.org/>

地球温暖化の影響がよくわかる写真や図表、用語集などがある。

「子どもプラザ」のページではゲームをしながら温暖化問題について学べます。

サイト内の「ストップおんだん館」には、環境学習キットの貸し出し紹介があります。

農林水産省『子どものためのコーナー』 <http://www.maff.go.jp/child/index.html>

「**ジュニア農林水産白書**」 http://www.maff.go.jp/www/hakusyo/kodomo_hakusyo.html

林野庁「**こども森林館**」 <http://www.rinya.maff.go.jp/kids/top.html>

森や木の大切さをわかりやすく解説したり、森を楽しく体験する「森の子くらぶ」の活動などを紹介しています。

「**絵でみる森林・林業白書**」 <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/kodomohakusho/top.htm>

国土交通省『じゃぶじゃぶ川ネット!』 <http://www.mlit.go.jp/river/kids/>

国交省のこども向けサイト。川ができるまで、川の働き、川の水を汚さない工夫、川に棲む動物や草花など、川のことを調べたりできます。川に関するクイズにも挑戦できます。

気象庁『地球環境ポータルサイト』 <http://www.data.kishou.go.jp/obs-env/portal/>

国交省の外局、気象庁が提供する気候変動や環境問題の情報へのリンクを集めたサイト。

子ども向けページ「**はれるんランド**」 <http://www.jma.go.jp/jma/kids/index.html>

経済産業省『Kid's Page』<http://www.meti.go.jp/intro/kids/index.html>

経産省の子ども向けページ。私たちの生活のさまざまな問題の解決に取り組んでいます。

「環境・エネルギー」<http://www.meti.go.jp/intro/kids/kankyo/index.html>

「リサイクル」<http://www.meti.go.jp/intro/kids/recycle/index.html>

(財)クリーン・ジャパン・センター『環境リサイクル学習ホームページ』

「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ」<http://www.cjc.or.jp/j-school/>

3Rを中心にごみ問題や循環型社会、資源と環境について解説する小学生向けサイト。中学生向けのページもあります。

(独)国立環境研究所『NIE S子供のページ』<http://www.nies.go.jp/nieskids/index.html>

いま地球がたいへん - 環境を守るNIE Sのかつやく - 地球で起きている環境問題について、どのような研究が行われているか紹介しています。

EICネット『このゆびとまれ!エコキッズ』<http://www.eic.or.jp/library/ecokids/index.html>

日常生活の場面で起こる環境問題についてアニメやクイズを楽しんで学べるサイト。

「やってみよう」や「調べてみよう」など環境学習のヒントも紹介。

(財)省エネルギーセンター <http://www.eccj.or.jp/>

『エネルギー環境教育情報センター』<http://www.icee.gr.jp/>

広報施設見学ガイドや無料の教材配布や貸出等の提供があります。とても便利です。

(財)日本科学技術振興財団『ようこそ科学技術館へ!』<http://www.jsf.or.jp/>

インターネットみんなで調べよう生き物調査があります。

(独)環境再生保全機構『あおぞら探検クラブ』<http://www.erca.go.jp/ondanka/aozora/index.html>

身近な材料を使ってできる大気汚染を調べる実験について紹介。大気汚染の原因となっている汚染物質についても詳しく説明しています。

(財)河川環境管理財団『こどもの水辺サポートセンター』<http://www.mizube-support-center.org/>

こどもたちが水辺で環境学習ができるよう取り組む財団法人のサポートサイト。

各地で行われている水辺の活動を紹介した「水辺の人」などのページがあります。

NEF『(財)新エネルギー財団』<http://www.nef.or.jp/>

新エネルギーの紹介や子ども向けコーナー「NEFキッズ探検隊」などがあります。

NHK学校放送ONLINE『たったひとつの地球』<http://www.nhk.or.jp/tatta/ja/frame.html>

教育テレビで放送されている番組のホームページ。「やってみよう」コーナーでは、燃えるゴミと燃えないゴミ、リサイクルできるゴミを時間内に分別するゲームなどがあります。

全国公開環境学習プログラム

<p>環境省総合環境政策局環境教育推進室 持続可能な社会のあり方を考える（環境情報科学センター編） 『環境学習 - 指導者向けプログラム集 - CD・ROM』（2004年）</p>
<p>兵庫県教育委員会 『「海・川・森」環境教育プログラム』（平成17年3月） http://www.hyogo-c.ed.jp/gimu-bo/kankyoku/kankyoup.htm</p>
<p>沖縄県 『沖縄県環境教育プログラム小学校編』（平成16年3月） http://www.pref.okinawa.jp/index.html〔沖縄県 - 暮らし・環境 - 環境 - 環境教育活動〕</p>
<p>宮城県 『みやぎ環境学習プログラム小学校中学年・高学年』（平成16年3月） 『みやぎエコ体験プログラムほら、やってみよう！』（平成15年3月） http://www.ecoinfo-miyagi.jp/〔みやぎの環境情報館 - みやぎ環境学習 - 学んでみよう〕</p>
<p>島根県・島根大学 『「21世紀を生きるきみたちの環境学習 - 環境学習プログラム - 」 - 小学校中～高学年編 - ・ - 幼児～小学校低学年編 - 」 - しまね環境なび - 環境教育・学習 http://www.pref.shimane.jp/section/kankyo/gakushu/（2003年3月・2004年3月）</p>
<p>宮崎県 『宮崎県環境学習プログラム（小学校版）』（平成15年3月） http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html</p>
<p>大分県 『おおいた環境学習ガイド』（平成15年3月） http://www.pref.oita.jp/13000/gakusyuu/</p>
<p>香川県・香川県教育委員会 『環境学習プログラム集』（平成14年5月） http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/report/report35/index.html</p>
<p>千葉県 『環境学習ガイドブック』（平成14年4月） http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_kansei/gakushu/07gaido/index.html</p>
<p>広島県 『環境学習指導者ハンドブック～体験学習マニュアル～』（平成13年3月） http://www.pref.hiroshima.jp/eco/d/kyozai/ecohand_kankyo/index.html 『はじめての環境学習「ゴミ・廃棄物」体験型環境学習ハンドブック～子ども向けアクティビティ集～』 http://www.pref.hiroshima.jp/eco/d/kyozai/ecohand_taiken/index.html（平成12年3月）</p>
<p>山口県 『こども環境学習プログラム』http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/study/network/kkgp.htm 『環境学習プログラム』 http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/study/network/kgp.htm</p>
<p>熊本県環境センター 『環境学習のすすめ - 環境学習資料』 http://www.kumamoto-eco.jp/</p>
<p>静岡県 『環境学習データバンク』 http://ecobank.pref.shizuoka.jp/</p>
<p>愛知県 『あいちエコカレッジネット』 http://www.aichi-ecocollege.net/</p>
<p>全国地球温暖化防止活動推進センター 『地球温暖化防止のための環境学習プログラム』（2006年3月） http://www.jcca.org/kgprogram/tobira.html</p>

環境教育の人材育成・人材認定等事業データベース

環境教育の指導者を育成認定している事業（民間団体や政府・自治体関連）を紹介

指導者になりたい方、探している方のページ <http://www.env.go.jp/policy/edu/reg/index.html>

和歌山県環境生活総務課：http://www.pref.wakayama.lg.jp/ka_shitsu/032000.html

和歌山県の環境（和歌山県環境白書概要版）

身近で環境について学べる施設・プログラム

「家庭でできる地球温暖化対策」小冊子

温暖化防止のための環境学習教材の貸出

STOP地球温暖化！！啓発パンフレット・ポスターコンクール

環境に関するパンフレット一覧 環境にやさしい買い物キャンペーン

わかやま環境大賞

ISO14001和歌山県環境マネジメントシステム

地域整備における環境配慮の手引き（改訂版） 環境保全に向けた県の率先行動

自然環境室：http://www.pref.wakayama.lg.jp/ka_shitu/032500.html

ラムサール条約湿地「串本沿岸海域」 ツキノワグマについて 特定外来生物法について

・保全上重要な和歌山の自然：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/reddata/>

和歌山県環境衛生研究センター：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/>

和歌山県動物愛護センター：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031601/animal.html>

和歌山県立自然博物館：<http://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp/>

和歌山県農林水産総合技術センター林業試験場

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070101/gaiyou//006/006.htm>



環境管理課 TEL073-441-2683 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/>

参加者募集 水生生物調査とスターウォッチング

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/suisei/index.html>

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/star/index.html>

循環型社会推進課 TEL073-441-2696 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031800/>

循環型社会の啓発用ビデオとDVDの貸出（当課及び各県立保健所で貸出中）

「めざせ！ごみ捨てマスター！」（アニメ 約8分）

「循環型社会への転換」（ドキュメンタリー 約20分）

廃棄物対策課 TEL073-441-2681

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032200/haitaihp/index.html>

和歌山県教育委員会（-学校教育- 環境教育） TEL073-441-3637

▶学校における環境教育指針 ▶きのくにエコスクール基準

http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500100/koumoku2/sub6_5.html

和歌山県教育センター学びの丘環境学習情報センター機能 TEL0739-26-3511

環境学習情報 <http://www.wakayama-edc.big-u.jp/kankyo/index.html>



市町村関係の環境担当部局

各市町村により担当部局が異なります。問い合わせの際には手続き等の仕方を含め、事前に市町村教育委員会もしくは県教育庁小中学校課まで確認の上、担当者にご相談ください。

2. 国の事業を活用しよう

こどもエコクラブ(JEC)を利用しよう！！



[特別活動のクラブに加え、ぜひご利用ください]

こどもエコクラブは、こどもなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、こどもたちに大切な地球環境に関する学習や具体的な取組・活動ができるよう支援するものです。



こどもエコクラブに参加するには？

2人以上の仲間と指導者であるサポーター（大人）を集め、市町村の環境担当課に登録用紙を提出してください。（入会金、会費は無料）



クラブ会員になったらどうなるの？

活動に役立つヒントがいっぱいの「会員手帳」と会員だけが持っている「メンバーズバッジ」が送られます。こどもたち全員に年5回、みんなの活動や環境についてのいろいろな情報がのっている「JECニュース」が送られます。また、代表サポーターには「応援マニュアル」と「サポーターズニュース」が送られます。



活動の期間は？

4月から翌年3月までを単位としますが、いつでも参加でき、退会されるまで、継続して活動いただけます。（活動中の第三者への事故に対応するため、登録と同時に、賠償責任保険に加入してもらえます。）



どんなことをするの？

活動は、次の2つです。どちらか1つをやっても、両方やってもOK。

「エコロジカルあくしょん」

グループで自主的に行う活動で環境に関することなら何でも「あくしょん」になります。

（例）生きもの調査・町のエコチェック・リサイクル活動など

「エコロジカルとれーにんぐ」

全国のクラブの共通的な活動で、全国事務局からJECニュースを通じて提供され、毎日の生活の中で地球や環境のことを楽しく考えるプログラムです。



1年間がんばったら？

「エコロジカルあくしょん」や「エコロジカルとれーにんぐ」の取組を年に4回報告したクラブ会員には、「アースレンジャー認定証」が送られます。また、3年間活動して「アースレンジャー認定証」を取得すると銀バッジが、6年間活動すると金バッジがもらえます。



お問い合わせ

各市町村環境担当課（市町村事務局）もしくは県環境生活総務課（県事務局）にご連絡下さい。

【こどもエコクラブHP（環境省） <http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/>】

『我が家の環境大臣』になってみませんか？

環境にやさしい行動に取り組む家庭を「エコファミリー」、その代表者を「我が家の環境大臣」として登録し、楽しみながらエコライフを進める環境省の事業です。



楽しい情報とゲーム感覚いっぱいの参加型ウェブサイトにて、個人の各家庭で登録すると、環境大臣から任命証が送られるほか、エコファミリー表彰やさまざまな地域イベントへの参加等の特典が受けられます。

もし、子どもたち各家庭の理解を得ることができれば、クラスとして団体で登録することができます。団体登録ではオリジナルステッカーや楽しくてためになる会報誌などがもらえ、クラスにおいてエコライフが身近で充実したものになるでしょう。

登録料や年会費は無料で、いつでも入会できる仕組みです。

さっそく、先生自らウェブ登録して試してみてください。日々の環境学習指導にとっても参考になります。こうして、エコファミリーの環をどんどん広げていきましょう。

詳細は右記ホームページまで。**我が家の環境大臣ホームページ**：<http://www.eco-family.jp/>



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

<http://www.team-6.jp>へどうぞ

『省エネ共和国』の実践を参考にしてみましょう！

「省エネ共和国」とは、省エネルギー・環境・リサイクル等地球温暖化防止に貢献する活動を自ら実践していく人々の集合体です。小学校を学校型「省エネ共和国」にして、児童・職員が共和国民となり、共通の認識のもと省エネ数値目標を設定、活動計画を作成して、身近な場で日常的な省エネルギー活動に取り組んでいます。共和国には自らの活動の公表等により、地域への省エネ行動の波及が期待され、過去には6回の省エネ共和国サミットが開催されました。



『省エネ共和国』への活動支援（～平成18年3月）

ツールや情報の提供によって活動をサポート！！ このほかパネル類の貸出などもあります。

「省エネナビ」：学校に設置して「今電気をどれくらい使っているか」等について目に見えるようにするシステム。

「省エネ実践カレンダー」：10項目の省エネ行動を示し、行動促進・定着を図る実践記録型カレンダー（シール添付方式）

「省エネ共和国パスポート」：省エネガイドブック（省エネ家計簿付き）

「共和国フラッグ」：省エネ共和国のシンボルとなる国旗（国名入り）



【省エネ共和国サミット <http://www.eccj.or.jp/republic/summit/index.html>】

省エネ共和国ホームページ：<http://www.eccj.or.jp/republic/index.html>

省エネ共和国に関する情報は平成17年度末のもので、平成18年度以降は、関連した取組として新たな事業に変更される予定ですのでご注意ください。

3. 県の事業を活用しよう

わかやまエコマインド創造事業（和歌山県）

環境問題を解決していくためには、一人ひとりのライフスタイルを転換する必要があります。

そのためには、環境について考える機会を数多く提供し、意識の変革を促すことがたいへん重要です。

県では、この認識のもと、実体験を通じて培う環境保全意識 = エコマインドの浸透を図ります。

そこで、下記の専門的な環境学習関係の機材や資料を、ワゴン型のハイブリッド自動車に搭載し、学校での授業や団体のイベント会場等に出向きます。現地で、これらの搭載機器を用い、自然エネルギー活用の実演、環境保全DVD等の映写、身近な環境調査等を行うことにより自然エネルギーや環境問題の解決を考えるきっかけとします。この事業は、平成18年度から本格的に移動します。なお、学校へは貸出運用ができます。

太陽光及び風力発電システム 各種環境測定機器・環境学習器材 会場設営機材
環境問題を解説したパネル 環境学習関係の書籍・ビデオテープ・DVD

【電話・FAX】県環境生活総務課 温暖化対策推進班 TEL073-441-2690 FAX073-433-3590

【ホームページ】<http://www.pref.wakayama.lg.jp/pref/032000/ecomind/ecomind.html>



和歌山県環境学習車『紀の国エコワゴン』

環境学習アドバイザー派遣事業（和歌山県）

平成15年度にはじまるこの制度は、環境学習を推進するため、環境分野の有識者を和歌山県環境学習アドバイザーとして登録し、学校をはじめ、市町村、事業所、住民団体等が実施する学習会や研修会、講演会などに講師として派遣する事業です。

〔講師派遣の手順及び連絡先〕

学習会等の企画

主催者は、観察会など学習会等を企画します。テーマは、主催者側で自由に設定します。

↓
派遣の申請手続

主催者（申請者）は、開催予定日の30日前までに申請書を作成し、県環境生活総務課に提出します。希望のアドバイザーがいれば記載します。県環境生活総務課は申請書について審査し、その結果を派遣通知書で申請者に報告します。許可されればアドバイザーを確定します。

↓
派遣・講師決定

↓
学習会等の実施

主催者は依頼するアドバイザーと交渉し、詳細の打合せを行います。当日、アドバイザーは講師として会場に出向き、学習会等を行います。

↓
報告書等の提出

主催者は、学習会等の終了後10日以内に実施報告書を作成し、県環境生活総務課に提出します。

【電話・FAX】県環境生活総務課 環境計画班 TEL073-441-2674 FAX073-433-3590

【ホームページ】<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/gakusyu/advis/advise.html>

「環境学習アドバイザー派遣事業の概要」・「アドバイザー一覧表」を参照の上、
「派遣に関する書類関係」を印刷してご利用ください。

わかやま環境学習プログラム

- 小学校指導者用 -

策定委員会

委員長	小谷 眞	県環境生活部環境生活総務課長
委員	前岡 秀幸	NPO法人アタックメイト和歌山
	的場みち代	和歌山県立自然博物館友の会
	杉谷 善朗	和歌山市立四箇郷北小学校
	松下 太	和歌山市立有功東小学校
	鎌田 淳一	和歌山市立こども科学館
	辻本 和孝	和歌山大学教育学部附属小学校
	中島 紀生	県教育庁健康体育課
	嶋田 文紀	県教育庁小中学校課
	茂田 嘉朗	県教育庁県立学校課
	福田 修武	県教育センター学びの丘
	西岡 義高	県環境生活部循環型社会推進課
	宮坂 光香	県環境生活部環境生活総務課
事務局	楠山 和弘	県環境生活部環境生活総務課
	田伏 政昭	県環境生活部環境生活総務課

このプログラム集に関するご意見、ご感想、実践結果などがございましたら、下記までお寄せくださいますようお願いいたします。

わかやま環境学習プログラム - 小学校指導者用 -

発行日 平成18年3月
編集・発行 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課
〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL 073-441-2674 FAX 073-433-3590
E-mail : e0320003@pref.wakayama.lg.jp
<http://www.pref.wakayama.lg.jp> (県ホームページ)

※裏表紙「紀州レンジャー」

わが国でレンジャーといえば、国立公園など自然保護地で公園の保護管理や野生生物の保護増殖にあたる環境省の職員のことです。これに「紀州」を冠した「紀州レンジャー」は、いわば郷土和歌山の自然保護官ということになるでしょう。

和歌山の特産品をモチーフにした、このイメージキャラクターは、和歌山県プロジェクトチームと地元NPOとの協働事業「紀州レンジャープロジェクト」により、平成17年6月から和歌山県の自然環境の保全と和歌山県産品のPRを主な任務として、県の内外で活躍しています。

このプロジェクトは「世界遺産の森林を守ろう基金」〔(財)和歌山県緑化推進会〕に協賛し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的景観の一つである森林の整備・保全に貢献しています。

なお、本書では、環境クイズなど環境学習のマスコットとして登場しています。
注) 和歌山県は梅、みかん、太刀魚、備長炭などの生産及び漁獲で知られ、古式捕鯨の発祥地でもあります。

■ (現行) 学習指導要領における環境教育にかかわる主な内容について (高等学校は省略)

	社 会 (地理歴史・公民)	理 科	生 活		
小学校	(3・4学年) ●飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活と産業とのかかわり (5学年) ●公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ ●国土の保全や水資源の涵養のための森林資源の働き	●生物、天気、川、土地などの指導については、野外に出掛け地域の自然に親しむ活動を多く取り入れるとともに、自然を大切にする心やよりよい環境をつくろうとする態度をもつようにすること (6学年) ●生物は、周囲の環境とかがわって生きていること	(1・2学年) ●自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然を大切にする		
中学校	(地理的分野) ●環境やエネルギーに関する課題 ●公害の防止など環境の保全 ●地球環境、資源・エネルギー問題について課題学習	(第1分野) ●環境との調和を図った科学技術の発展の必要性 ●人間が利用しているエネルギーには水力、火力、原子力など様々なこと、エネルギーの有効利用の大切さ (第2分野) ●自然環境を調べ、自然環境は自然界のつり合いの上に成り立っていること、自然環境保全の重要性の認識			
	家 庭 (技術・家庭)	体 育 (保健体育)	道 徳	特別 活動	総合的な 学習の時間
小学校	(5・6学年) ●環境に配慮した自分の家庭生活の工夫	(3・4学年) ●健康に過ごすためには、生活環境を整えることが必要であること	(5・6学年) ●自然環境を大切に	●学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事	●自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的、問題解決的な学習を積極的に取り入れること
中学校	(技術分野) ●技術と環境・エネルギー資源との関係 (家庭分野) ●自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活の工夫	(保健分野) ●環境の保全に十分配慮した廃棄物の処理の必要性 ●地域の実態に即して公害と健康の関係を取り扱う	●自然の愛護	●学級活動、生徒会活動、学校行事	

パンフレット『環境教育の推進に向けて』文部科学省初等中等教育局教育課程課作成より転載。

参考：『改訂小学校学習指導要領の展開 総合学習編』村川雅弘・小林毅夫編著 (1999年) 明治図書



この冊子は古紙配合率100%再生紙を使用し、大豆油インキで印刷しています。